

中国・济南市兒童生徒交流事業



平成21年11月20日(金)～24日(火)

和歌山市立紀伊中学校

挨拶

紀伊中学校 校長 明渡大承

和歌山市と中国の友好都市である済南市との児童生徒交流事業で、平成21年（2009年）11月20日より24日までの5日間済南市を訪問してまいりました。

中国済南市は和歌山市と昭和58年（1983年）1月14日に友好都市を提携しました。以後、日本を含め世界中の11カ国と友好都市の提携を結んでいます。日本では、山口市が昭和60年（1985年）9月に提携しました。

和歌山市では、昨年友好都市提携25周年を節目に「中国・済南市児童生徒交流事業」を発足し、本年は中学校の交流となり本校が選ばれました。

済南市内や近郊の歴史ある場所を訪れ、中国4000年の歴史の一端に触れ、また本場の中華料理に舌鼓をうちながら交流をしてまいりました。特に、済南実験初級中学との生徒交流は生徒にとっても引率の私たちにとっても非常に意義あるものでした。授業の一端を参観しましたが、書道や美術の授業でしたが、とても一生懸命に作品に取り組んでいる姿勢がすばらしかったように思います。

また、本校との交流では、新設された校舎内のホールでまず、本校の2年生が吹奏楽の演奏を披露しました。本校の生徒たちはすばらしい演奏をしてくれました。その後、実験初級中学の演技があり、どれも見事なものでした。その様子は、山東省済南実験初級中学のホームページに掲載されています。（<http://old.sycz.net/>）

中国語の分からない生徒や日本語の分からない生徒同士がわずかな時間で交流し合えるということはすばらしいことであると思います。これからの世代を背負って立っていく若者たちの未来に大いに期待したいものです。

平成21年12月9日

中国山東省済南市親善訪問

紀伊中学校 教諭 大村 幸路

今回、和歌山市の中国・山東省済南市との友好都市親善訪問に紀伊中学校が選ばれ、学校長と吹奏楽2年生13名と顧問の私で訪問することになりました。本校の吹奏楽部は現在1年生17名と2年生13名の計30名で活動していますが、今回は2年生のみの訪問となりました。私にとっても、生徒たちにとっても初めての体験であり、まず管楽器を中国に事故なく運べるだろうか。パスポートもほとんどだれも持っておらずに手続きはどうするのだろうか。13名での演奏は一体どのような選曲をしたらいいのだろうかなどと不安だらけでした。しかし生徒たちはすごく今回の訪問を喜び、保護者の方々もすごく前向きに応援してくれました。普通のツアーでは絶対に味わえることのできない良い経験ができると考えると、私もすごく楽しみなり、いろいろな準備をしました。

11月20日からの4泊5日の訪問で済南市の方々からは心から歓迎してくれました。不安だらけの私たちにとっても気を使っただき、優しい言葉をかけてくれました。連日の歓迎会ではすごく豪華な中国料理を用意して私たちをもてなしてくれました。実験中学での吹奏楽演奏もあたたかい拍手をたくさんいただき、とてもいい交流になったと感じました。京劇などの中国の本場の文化にも触れることができ、有意義な訪問でした。

その他にも、観光や生徒宅へのホームビジットなど心のこもった歓迎にすごく私たちは感激しました。さらに今後も和歌山市と済南市が有意義な交流ができるように、もっと私たちは中国のことを知る必要があると感じるとともに、来年は実験中学のみなさんが、紀伊中学校に訪問していただけることを心から望みます。ありがとうございました。

1 日程

1 1月20日 (金)

時間	場 所	交通機関	内 容
07:30	紀伊中学校	バス	集合→出発式
08:40	関西国際空港		到着→出国手続
10:30	関西国際空港	NH157	出発
12:30	青島国際空港	バス	到着→入国手続→済南市
17:30	済南市		
	ホテル (東方大厦)		Shandong East Hotel
18:00			歓迎会

1 1月21日 (土)

全日	泰山観光		
昼食	泰安市内のレストラン		
18:00	外事弁公室の歓迎会 (舜元大酒店)		
	ホテル (東方大厦)		Shandong East Hotel

1 1月22日 (日)

08:00～	7つのグループに分かれてホームビジット		
17:00			
昼食	家庭訪問先		
17:00	ホテル到着		
18:00	夕食 (粵都酒楼)		
	ホテル (東方大厦)		Shandong East Hotel

1 1月23日 (月)

08:30～	済南実験初級中学訪問		歓迎儀式
09:30～			交流活動
11:00	昼食		
13:00～	市内観光		
17:00	学校主催送別会 (点禧舜和商务酒店)		
	ホテル (東方大厦)		Shandong East Hotel

1 1月24日 (火)

07:00	済南市	バス	出発→青島国際空港
-------	-----	----	-----------

11:30	昼食		空港内
12:30	青島国際空港		到着→出国手続
14:05	青島国際空港	NH158	出発
17:25	関西国際空港		到着→入国手続
18:00	関西国際空港	バス	出発
18:45	紀伊中学校		到着→解団式

11月20日(金)

- 07:30 市国際交流課・西脇課長、山田靖子先生、保護者のみなさんの見送りを受けて、全員そろって紀伊中学校を出発。
- 08:15 関西国際空港（KIX）に到着。
旅行者からの説明を受ける。
- 08:30 各自手荷物をカウンターに預ける。
- 09:15 金属探知機をくぐり、出国手続きを。
- 09:30 パスポートとボーディングパス（搭乗券）を見せ、出国完了。
ここはもう国外。
- 09:45 出発ゲート12番へ。
- 10:53 やや遅れて、関西発青島行きの全日空NH157便が離陸。
通路を挟んで左右3列ずつの機体であった。
(日本と中国・山東省は時差が1時間で、日本より1時間遅れ)
ここからは、青島時間。
- 10:20 飲み物と食事のサービスが始まる。メニューは、前菜 スモークサーモンのレモン添え、ビーフのスモークハム、ベジタブルスティック、カレー風味 メインディッシュはハンバーグステーキのきのこのソース和風味、デザート、コーヒーまたは紅茶。
- 10:30 鳥取上空を通過。
高度 85,00メートル、速度 651km/h、
外気温 -3.7℃。
- 12:25 青島空港（TAO）に無事着陸。
晴れ、気温6℃。
入国審査、手荷物を受け取り、
- 13:00 税関検査を受ける。
- 13:10 済南実験初級中学の宮 春（副校長）、宋 涛（教務処主任）、祝 恒（外事弁公室通訳）の出迎えを受ける。



- 13 : 25 用意して頂いたマイクロバスで一路済南市へと思ったが、楽器や荷物が多すぎて、6名がバスに乗れずもう1台チャーター。
とりあえず1台目は一路済南市へ向けて約350kmのドライブ。
- 14 : 05 2台目のワゴン車が来て、40分遅れで出発。
- 15 : 30 済南まで約200kmの所でトイレ休憩。
- 16 : 50 再び済南まで約95kmの所でトイレ休憩。
- 18 : 00 済南市に着き高速道路を下りて一般道路へ。
夕方のラッシュで渋滞。
- 18 : 35 1時間遅れでホテルに到着 チェックインを済ませ、制服に着替えて歓迎会に出席の準備を。
- 19 : 15 ホテル2階の部屋で済南市市中区教育局、済南実験初級中学の先生方のみなさんの歓迎を受けて、今旅行第1回目の中華料理のフルコースを。挨拶やプレゼントの交換を。
- 21 : 30 歓迎会も終了し、生徒は少し練習を。



11月21日(土)

- 06 : 00 モーニングコール。
- 07 : 00 ホテル内で中華料理中心のバイキング形式の朝食。
- 07 : 45 バスの乗って済南市から南へ約60kmの泰安市にある泰山へ。
- 08 : 55 泰山のある泰安市へ。
- 09 : 25 泰山のふもとへ。
泰山は中国山東省の中部に長さ500kmにも及ぶ大きな山脈。中国で最初に1987年に世界自然遺産に登録された。中国には泰山を筆頭に華山、衡山、嵩山、恒山を5名岳があり、泰山はその最高峰・玉皇峰は1545mもある。
- 09 : 50 専用バスの乗って山の中腹まで。
- 10 : 00 標高860mの地点でバスを降り、ここから先はロープウェイで。
- 10 : 35 ロープウェイで1460mの地点へ。
ここから狭い道や階段を進み、山頂へ。
強い風が体から体温を奪って行って非常に寒い。
- 11 : 25 1545mの泰山頂上へ到達。後はまた長い道のりをロープウェイ乗り場まで山下り。
- 11 : 35 孔子廟へ。孔子廟(こうしびょう)は、中国、春秋時代の思想家、儒



教の創始者である孔子を祀っている霊廟（霊をまつる建物）。

- 11 : 55 ロープウェイで下山。
- 12 : 25 バスに乗ってふもとまで。
- 12 : 45 泰山を後に昼食場所へ。
- 13 : 00 昼食は、泰山ホテルで。2回目の中華料理のフルコース。
- 14 : 00 泰山を離れ、一路済南市へ。
- 15 : 30 東方大厦到着。
しばらく休憩。
- 17 : 40 夕食に向けて、ホテルを出発。
- 18 : 00 済南市人民政府外事弁公室主催の歓迎会（舜元大酒店で）。
中国に来て3回目の中華料理フルコースを。
挨拶やプレゼントの交換を。
- 20 : 00 歓迎会も終わりバスでホテルへ。
- 20 : 15 東方大厦到着 今日も生徒は少し練習を。

1 1月22日（日）

- 07 : 30 モーニングコール。
- 08 : 00 ホテル内で中華料理中心のバイキング形式の朝食。
- 09 : 00 7つの家庭に分かれてホームビジット。
ほとんどの家庭が、済南の名所である「大明湖」や「趵突泉（ほうとつせん）の観光へ。
- 17 : 40 実験初級中学主催の夕食会へ。
- 17 : 50 ホテル近くのレストランで夕食。
今日の昼食は各家庭でごちそうになったので、中国に来て4回目の中華料理フルコース。今回は最後に8種類の餃子を。中国の餃子は日本の焼き餃子とちがって水餃子。
- 19 : 30 夕食を終えて、バスでホテルへ。
- 19 : 45 東方大厦到着 明日の交流を控えて最後の練習を。
少々疲れもたまってきた様子。

1 1月23日（月）

- 07 : 00 モーニングコール。
- 07 : 30 ホテル内で中華料理中心のバイキング形式の朝食。
- 08 : 40 バスでいよいよ済南実験初級中学へ。
- 08 : 50 済南実験初級中学到着。

校門で熱烈歓迎をうける。

学校内を少し見学し、
会議室へ。

宮 春（副校長）司会
のもと、劉 景雪（書記）があいさつ。



09 : 00 校内の授業参観。

書道、美術、切り絵の参観。

この間、生徒は、演奏のためにチューニング。

10 : 00 6階のホールで交流。

紀伊中学校吹奏楽部演奏



濟南実験初級中学

(1) 京劇 (2) 笛の独奏 (3) 琴の演奏 (4) 二胡の演奏



11 : 50 交流を終えて、バスでホテルへ。

12 : 00 着替えて、ホテル近くの銀行で両替を。

本日のレート 5,000円 → 374元29角

13 : 00 全員両替を終了 実験初級中学の先生に無理を言って、昼食は軽くマクドナルドで。

13 : 20 「泉城広場」のマクドナルド（麦当劳）で久しぶりのハンバーガーとポテトを。

14 : 20 「泉城広場」の地下のスーパーマーケット（超級市場）でショッピング。
～15 : 30 家族や友だちへのお土産を。

15 : 40 近くのショッピングセンターへ。

～16 : 30

16 : 50 バスでホテルに到着。

- 17 : 40 制服に着替えて、バスで送別会の会場へ。
18 : 20 最後の中華料理のフルコースを。
20 : 50 送別会を終えて、バスでホテルへ。
この頃は、疲労の絶頂で、体調不良の生徒も。

1 1月24日 (火)

- 05 : 30 モーニングコール。
06 : 40 バスでホテルを出発し、済南市に別れを告げ一路青島空港へ。350 kmのドライブ。
朝食は、ホテルが用意してくれたパン、おかず、卵、ミカン、牛乳
疲れと朝早く睡眠不足のせいか、バスの中は睡眠状態。
09 : 00 青島まで150 kmの地点でトイレ休憩。
09 : 13 濃霧のため高速道路が閉鎖になり、降り口まで渋滞。
09 : 30 高速道路降り口寸前で、道路が開通 快適なドライブになる。
09 : 40 再び濃い霧の中をドライブ。
09 : 50 霧も少し晴れてきた。
11 : 00 青島空港 (T A O) に到着。
11 : 30 空港内のレストランで昼食。懐かしい日本風
ラーメンを。
12 : 20 手荷物を預け、出国手続きを。
滞在中お世話になった済南実験初級中学の宮 春 (副校長) や宋 涛
(教務処主任)、祝 恒 (外事弁公室通訳) を別れを告げ出国。
12 : 45 出国手続きを終え、出発ゲート6番へ。
14 : 05 定刻通り全日空NH158便が関西空港に向け離陸。
ここからは、日本時間。
15 : 15 食事と飲み物のサービス 今日のメニューは前菜はスモークサーモン
ピクルス添え、ビーフの黒胡椒風味、メインディッシュはさわらの西京
焼きと高菜ごはん、四季の麺 コーヒーまたは紅茶。
16 : 35 日本上空は雨雲が発達していて機体が大きく揺れる。
17 : 07 関西空港 (K I X) に無事着陸 天気は小雨。
入国審査、手荷物受取、税関申告を終えバスで一路紀伊中学校へ。
18 : 30 家族の待つ紀伊中学校へ到着 楽器や荷物をバスから降ろし家族を一
緒に各家庭へ。



2 生徒の感想

中国・済南市のホームビジットについて

私たちは11月20日金曜日から11月24日火曜日まで和歌山市の友好都市の中国済南市を親善訪問しました。その5日間の中の1日、11月23日日曜日にホームビジットに行かせてもらいました。

私が初めに想像していたのは、一軒家に住んでいて家が大きいのかなとか思っていたけれど、全然違い驚きました。一軒家じゃなくて高級住宅マンションでした。和歌山市にあるマンションは部屋がせまいのに済南市はとてもマンションと思えないくらい広かったです。

中国は「一人っ子政策」をしているので普通は一家族に子どもは1人だけけれど、私が行かせてもらった家庭は双子の女の子だったから2人いました。2人ともそっくりで似ていてどっちがどっちだか分からなくなっていました。

家では、ホストマザーがたくさんフルーツ（バナナ、スイカ、オレンジ、ドラゴンフルーツ）を用意してくれてごちそうになりました。双子の女の子の部屋で遊んだり、パソコンでゲームをしたり「ドラえもん」のテレビを見たりしました。ドラえもんは日本と全く同じでした。お昼ごはんは、中華料理のお店につれて行ってもらい、そこで「北京ダック」を頂きました。北京ダックを切って、お皿にのせたりするとき、ダックをそのままの形でもってきてお客さんの前で調理します。食べ方は、うすいナンのようなものにタレをつけてのせ、そこへきゅうりとか具をはさんで、巻いて食べます。他には皮を砂糖につけて食べる食べ方もあります。高級料理でとてもおいしかったです。

そのあと、済南市で一番有名な泉がわきでている所へ観光に行きました。たくさんきれいな水がいくつもあり、飲める水があり飲みました。ふつうのおいしい水でした。

きれいな水の中には金魚や鯉がたくさん泳いでいました。その水の中にお金を1元入れて、それが浮くと幸せになるという言い伝えもあるそうです。また、ちがう水にはアザラシの親子もいました。記念写真を撮ったりして学んだり楽しみました。

ホームビジットの家族たちはみんなとても親切に優しく接してくれて、とても嬉しかったです。和歌山市では、なかなかできない貴重な体験ができて良かったです。

山東省済南実験中学

私たちは中国に行って4日目に済南実験中学に行きました。この学校は1993年に建てられました。中学校の面積はとても広くてびっくりしました。先生の人数は約160名で生徒の人数は約2500名ととても多い人数でした。学校に着いてから、図書室や部活動の書道部を見に行きました。生徒たちは、制服ではなく体操服みたいなジャージを着ていました。書道のところを見たあと、書いた絵や漢字などを私たちにプレゼントしてくれました。とても上手な絵や字でした。私たちが和歌山で勝利大街小学校の生徒をホームビジットしたときに、女の子から学校のことをいろいろ聞きました。そのとき部活動の話になって日本にはない部活動などがあることを聞きました。日本と中国は似ているところもあるけれど、全然違う文化や生活があることがわかりました。それに中国にはいろんな観光地があつてうらやましいと思いました。学校は中学と高校が一緒になっていて、全員で合わせて生徒が約6000人いると聞きました。だから学校がとても大きくて外にはバスケットボールで遊んだりしていていいなと思っていました。

そして、いろいろなところを見学してから、私たちは音楽室に移動して、練習をしました。いよいよ本番と思うとすごく緊張しました。私はどんなところで演奏するのだろう、何人の人たちが、演奏を聞いてくれるのだろうといろいろなことを考えていました。練習が終わって、私たちが演奏する場所に移動しました。その場所は前に舞台があつて、舞台の上には机とイスが置いてありました。ついに舞台上がり演奏しました。1曲目は「君の瞳に恋している」、2曲目は「ひまわり」、3曲目は「ひょっこりひょうたん島」、4曲目は「さんぽ」、5曲目は「上を向いて歩こう」。そして最後の曲は「未来の地図」の順番で演奏しました。全部演奏し終わった後、すごく大きな拍手をもらいました。そのときはすごくうれしくて、実験中学で演奏できてとてもよかったと思いました。次に実験中学の人たちの中国の「京劇」というのを見ました。いろんな服を着て踊ったり、中国の楽器の「琴」などを演奏してくれました。なかでも女の子が1人で音楽に合わせて笛を吹いてくれました。音がすごくきれいで感動しました。この日はいろんなところを見たり、私たちが演奏したり、踊りを見れて、本当によかったです。初めてのことがとても多くて緊張もしたしけれど、最高の1日になったと思います。中学校に行けてとてもよかったと思いました。

ホームビジット

私は和歌山市の友好都市になっている中国の済南市に行ったとき、実験中学の生徒の家族と交流させてもらいました。

今回、私たちを受け入れてくださったのは、姜さんという方のお宅でした。姜さんの家には、お父さん、お母さん、冠宇くん、おばあさんと4人家族でした。今回は、おばあさんが用事でいなかったのが残念でした。

最初は家に行かせてもらいました。家はマンションでした。済南市はほとんどの人がマンションに住んでいるそうです。一軒家は全然見ませんでした。家の中に入るとじゅうたんなどは敷いてなくて、フローリングの床でした。中国ではイスに座っていて、床に座る習慣はないそうです。

家の中に入ったとき、すごく暖かかったので、理由を聞いてみると部屋の回りに管があって、その中にお湯が通っているから温かいって行っていました。日本で言う床暖房みたいな設備だそうです。外とはすごい温度差でした。

少ししてからビデオを見せてくれました。内容は姜くんがテレビに出て「京劇」をしたときのものでした。姜くんは小学校1年生のときから書道をやっているようで、「厚德戴物」というものを目の前で書いてくれました。意味は「人は飾りなどが何もしなくても、そのままがいい」という意味だそうです。

お昼からは食事に行きました。ご飯を食べて泉を見に行きました。泉はたくさんあるらしいですが、その中でも有名な泉に行きました。泉はいろんなところからわき出ている、きれいに3つ横に並んでわき出ているところもありました。泉のほかにもお寺などがたくさんありました。中国の有名な人やそんな人たちが描いた絵などがありました。絵の中には和歌山で有名な梅の花などもありました。日曜日だったのでたくさんの方が来ていたので、すごい所なんだなと思いました。泉をすべて見終わってから時間がきたのでお別れになりました。

今回、貴重な体験をさせていただいてたくさんのことを学ばせてもらいました。中国と日本の違うところはたくさんありましたが、人を思いやる気持ちなどはどの国も同じでした。1日という短い時間でしたが、たくさん宝物ができました。この体験を日々の生活に活かしていきたいと思います。

中国の印象について

今回私たち紀伊中学校吹奏楽部2年生13名は和歌山市の友好都市となっている中国・山東省の済南市へ親善交流のため訪れました。

訪れる前に、私が想像していた中国は、とにかく広く、大きい国で中国と言えば「パンダ」というイメージだったので、街中にパンダをアピールするようなものがたくさんあるのだろうと思っていました。

でも、実際中国に到着してみると、まわりは何十階もあるような高いビルやの建物が並び、建物ひとつひとつの大きさが面積を見ても、高さから見ても大きくて驚きました。青島空港を出たところでは、木々や花などを植えている緑化運動なども行われていました。

済南市に行くためには高速道路を使わなければならないのですが、そこでも1つ驚きがありました。道路が一直線なのです。日本では山があり、トンネルが2、3個続いていたり、カーブがたくさんあったりするのですが、中国は国土が広いはずと直線道路でした。

1日目の夜、人生初の本場の中華料理をいただきました。日本人で日本食に慣れている私には、辛すぎるものや味が薄すぎるものがたくさんありましたが、どれもこれも美味しいものばかりでした。初めて北京ダックも食べたし、見たこともない料理やその料理の食べ方も教えてもらいました。

観光として泰山という山脈にも行きました。多分、日本にはない高い岩山で、しかも山脈として連なっている山なんてないでしょう。さすが中国。頂上に行くまでは、とにかく石階段ばかりで、すっかり意気が荒くなっていました。でも、頂上から見える景色は何とも言えないくらいきれいでした。山の1番高いところなのでふもとより気温は5度くらい下がり、階段の端には雪が固まっていた。そして、すごく空気がおいしかったです。

ホームビジットでは、済南市の実験中学の生徒とその家族と1日交流しました。初めはお互い緊張していたのですが、相手の上手な英語と私の下手な英語とジェスチャーで何とか仲良くなれました。中国では今一人っ子政策があるため私の訪れた家族も娘さん1人しかいませんでした。そのためいとこというのも少ないそうなんです。その子には年下のいとこがいて、一人っ子同士だから姉妹のように仲が良いのだそうです。一人っ子政策では赤ちゃんが双子や三つ子のときだけ、何人も産んでも良いそうです。

今回のメイン実験中学での演奏です。みなさん熱心に聞いてくれていました。実験中学の皆さんは知らない曲などたくさんあったと思います。でも私たちの音楽が中学の皆さんの心に少しでも残っていると嬉しいなと思います。実験中学の皆さん

んからも私たちにもいろんな発表をしてくださいました。京劇という中国の伝統の歌劇のような、日本で言うミュージカルのような劇を演じながら歌ってくださいました。そして笛の独奏、琴の演奏、二胡の演奏。どの演奏もすごく上手で、奏でているときの表情も素敵でした。

私は今回の体験を通してとてもとても近くにあるとても大きい国、中国についていろいろな事を学びました。今回、私が中国に対してすごく大きな印象となったことは、中国という国が自分の国の古くからつ伝わる伝統文化をとても大切にしている、それをまた伝えていこうとしているよい国だということです。

私は親善交流をさせていただいて学んだことを生かしていきたいと思っています。また機会があれば中国を訪ねたいと思いました。

済南実験中学について

11月の20日から24日までの5日間、友好都市訪問として中国の済南市に行きました。1日目に中国に行き、2日目に泰山に行きました。3日目はホームビジットに行き、4日目に実験中学に行きました。

実験中学を訪問し吹奏学を演奏するのが今回の訪問の目的でした。最初23日に初めて学校の校舎を見たとき校門は商店街の中にあってびっくりしました。24日に学校の中に入った時、あまり日本の学校とかわらないような気がしました。しかし生徒が多くいてびっくりしました。最初は書道部の見学をしました。絵や字などを書いていて、書いていた絵や字をもらいました。その後は図書室に行き、会議室に行って中学の校長先生の話や、記念写真をとったりしました。その後、音楽室に行き演奏の準備をしました。音楽室はふつうでした。

準備の途中、実験中学の生徒が様子などを覗き見していたようで、演奏を楽しみにしてくれているのがわかりました。時間になったので演奏するところに行きました。上の階のホールのようなところに行きました。演奏中は暗くて顔が見えなかったですが、喜んでいてくれたらうれしいと思いました。演奏が終わった後、歌を聞かせてもらいました。ミュージカルのようなもので、楽しかったです。その歌で主役のような役割だった人は僕のホームビジットの人だったことを後から聞いてびっくりしました。

この5日間、中国に行き、外国の中学に行くなど、めったにできない体験ができて、よかったです。

中国の友好都市「済南市」を訪問して

私たち、紀伊中学校の2年生は和歌山市の代表として中国の友好都市済南市に訪問させていただきました。

私が初めに済南市を見て驚いたのは、道がとても広いということでした。しかも、車が右を走っていました。そして、人や自転車が普通に道路を横断したり、道路を走ったりしていたことです。私は、車にひかれそうで怖いなと思ったり、事故とかは起こらないのかと心配でした。バスの中から外を見たときビックリしました。済南市には高い建物がたくさん並んでありました。またマンションなどのイルミネーションがとてもきれいでした。そして、バスから降りたとき、和歌山との気温差に驚きました。済南市は、とても寒かったです。また、ホテルはとてもきれいでした。ホテル内は、あまり日本とは変わらないと思いました。ホテルの窓から外を見たとき、またビックリしました。山が見えないのです。私は田舎育ちなのであまりそういう光景が見られないので驚きました。夜は毎日、中華料理を食べました。バイキングのようにいろいろな食べ物がとれてよかったのですが、辛いと思いました。中華料理を5日間食べるのはしんどくて4日目の夜には体調崩してしまい、たくさんの方に迷惑をかけてしまい申し訳なかったです。でも中華料理の調理の仕方は日本とは全然違うので、文化の違いというものがわかりよかったです。

21日は、「泰山」に登りました。階段がとてもたくさんあり、上の方にあった建物は私が想像していたものでたくさんありました。22日のホームビジットでは生徒の家庭を訪問しました。とても広くてきれいでした。家はマンションがほとんどと聞いて驚きました。きれいな泉がたくさんある所（済南趵突公園）に連れてってもらいそして、23日には学校を訪問しました。私たちは演奏させていただきました。実験中学の生徒たちの発表にとっても感動しました。言葉は通じなくても、音楽なら通じる気がしました。

この4泊5日の5日間の中国済南市ではとても貴重な時間を過ごすことができ、とてもよかったです。私たちを温かく迎えてくださった済南市の皆様には感謝の気持ちいっぱいです。この交流で日本との文化の違いをたくさん学ぶことができよかったです。私はもっと外国語を話せるように練習して、いろんな世界の人たちとも交流ができるようにしたいです。それと中国の人は日本のことをよく知っているのです。私ももっと中国のことを知ろうと思いました。

この経験は一生忘れないだろうし、将来に生かせればいいと思います。今回は本当に楽しくて、いい思い出になりました。ありがとうございました。

泰山について

私たちは和歌山市と友好都市である中国の済南市というところへ行き、泰山という山へ登りました。泰山の山頂に行くために歩いて登ると約1日かかってしまうそうです。私は富士山以外で高い山を初めて見たので、登る前に見ただけでとてもとても疲れてしまいました。でも現在では一般道が中腹まであり、またそこからはロープウェイが走っているの、易しく登れるようになっています。私たちも約1日もかかる道は選ばず、ロープウェイで登りました。ロープウェイに乗る前と後からは気温が5度も違ったのでとても寒かったです。ロープウェイに乗っても山頂近くまでしか行けないので、そこからがとても大変でした。

泰山には道教の聖地である5つの山の1つといわれています。山頂へと続く道には、病氣や寿命、死後の事などを生死にかかわる事全般、また出産など女性に関する願い事がかなうなどと、それぞれ信じられている建物等がたくさんありました。

どの建物も鮮やかなものばかりで、特に赤色が多かったです。私が思っていた泰山は、山の中にポツンとひとつだけ建物があるというような感じでした。でも、実際行って見て思ったのは、建物は1つじゃなくてたくさんあって、そのひとつひとつの建物には意味があるということと、山頂から見た景色は、周りは山に囲まれていて、その山のあちこちに雪があったことがとても最高で、とても感動しました。

今回中国に行ってこんな素晴らしい山に登ることができてとてもよかったです。また、機会があるならもう一度泰山に来て約1日かかってもいいから、歩いて頂上まで行ってみたいと思いました。

済南実験中学について

私は、山東省済南市親善訪問で4泊5日で中国の済南市を訪問しました。

4日目、私たちは実験中学という学校に行って演奏させてもらいました。緊張していた中、学校内にバスで入って行った時、実験中学の生徒が赤い花をもって歓迎してくれました。予想外の歓迎に少し驚きました。ついたらすぐに演奏をしようと思っていたら、学校の中を見学し、いろいろと説明をしてくれました。書道部の見学の時、生徒のみなさんが自分の作品を1枚ずつ私たちにプレゼントしてくれました。字を書いている生徒や絵(水墨画)を描いている生徒もいて、みんなとても上手でした。

そして学校の会議室で歓迎会をしてくれました。すぐに演奏をしようと思っていたので、これにも驚きました。紅茶と中国で今実っている果物をもらいました。そして、先生方のあいさつが終わり、みんなで写真を撮ってから、いよいよ演奏の準備を始めました。学校の音楽室をお借りして、楽器を出して譜面台の準備。そして、チューニングをして、いよいよ演奏です。階段を上がっている時、ずっとずっと上に上がっているものだから「あれ、屋上で演奏するのかな？」と思いました。

けれど、最上階を見て驚きました。発表する時だけ使うような感じの小さなホールがありました。これには心底驚きました。そして、舞台に上がってイスや譜面台を置いて、いつでも演奏できる状態にして待っていると、徐々に生徒のみなさんがホールに入ってきて、今日の発表会が始まりました。

司会の生徒さんの挨拶が終わり、私たちの演奏が始まりました。皆さん真剣に聞いてくれてうれしかったです。何のアクシデントもなく私たちの演奏が終わりました。次は、実験中学の生徒のみなさんが「京劇」を見せてくれました。次に一人の女の子が中国伝統の曲を横笛で吹いてくれました。1級から10級あるうちの一番上手な10級らしくとても上手でした。そのあとも、お琴や中国伝統の楽器を使ってさまざまな演奏をしてくれました。最後に、中国伝統の踊りを見せてくれました。前日にホームビジットで仲良くなった双子の女の子たちも羽衣をきてきれいな踊りを見せてくれました。終わった後、みんなんで写真を撮りました。部長とその双子の2人は、テレビのインタビューをうけていました。残り的人たちは片づけをして、みんなそろってからバスに乗って実験中学を後にしました。

とても楽しく、日本では見られない演技を見せてくれて、良い交流となりました。

泰山

11月21日土曜日。中国済南市へ訪問してから2日目に泰山というとても高い山へ行きました。8時ごろホテルを出発して2時間くらいバスに揺られて泰山という山に着きました。着いた時、目の前にとっても大きい山があったのでビックリしました。バスを降りて山の前で写真を撮りました。撮り終わってから階段を上って行きました。

その後、バスに乗って山道を登って行きました。歩いて行くと1日ぐらいかかるそうです。でも、バスで坂道を登っていると歩いている人が何人かいました。歩いている人の中にタンクを持っている人がいたので、通訳さんに聞くと、「泉に水を汲みに行く。」と言っていました。私はこんな山道を歩いて行く人はいるのかなと思いました。何分か経つとロープウェイの入り口の近くに着きました。そこから歩いて乗り場に到着。ロープウェイにのって上の方に行きました。ロープウェイはとてもこわかったです。着いてロープウェイを降りると下にいた時の気温とちがいとても寒かったです。また歩くとすごい坂道や階段がありました。上っている途中で長い階段があったので数えてみると174段でした。この泰山の階段は幅がせまくて歩きにくかったです。上っているとこれは何なのだろうと思うものがたくさんありました。足が痛いなど思っているとやっと山の頂上に着きました。頂上はとても寒かったです。マイナス何度かあったと思います。そんな寒い頂上には何もなかったのですぐに降りて行きました。帰りは行きと違う道をとって帰りました。帰り道には儒教を教えた孔子の家があったので見ました。帰りは行きより楽で早くロープウェイに着きました。ロープウェイで下に降りて、バスで来た道を降りて行きました。バスを降りて駐車場へ行き、来たバスに乗って昼食を食べに行きました。泰山登りはいい経験になりました。

この日行った泰山はとても寒かったです。この日、ホテルに帰ると足が痛かったです。でもこの泰山登りは大変だったけれど、いい思い出になったので良かったです。

中国の印象

私は和歌山市と済南市の交流で、初めて中国に行ってさまざまなことを学びました。私の中国へ行く前の印象は、面積が広い、人口が多い、自転車がいっぱい走っているという印象しかありませんでした。でも、実際に行ってみると、他にもいろいろありました。中国人はみんな優しく私たちを歓迎してくれ、泰山には自然がたくさんあり、雪も積もっていたし、自転車だけでなく、車もたくさん通っていたりと、想像していたものとは全然違い、驚きました。

観光で行った泰山は、景色がとてもきれいでした。建物はほとんどに赤が使われていたりしていて、少し派手だなと思いました。

ホームビジットでは、掛軸をもらいました。伺った家の中学生が描いてくれてものだったけれど、とても上手で驚きました。ホームビジットの時に連れて行ってもらった泉はきれいで、とても自然があるなと思いました。

演奏をさせてもらいに行った実験中学では、みんなが温かく私たちを歓迎してくれて、とてもうれしかったです。実験中学にみなさんは、私たちの演奏を真剣に聞いてくれて、しかも京劇を見せてくれて、とても楽しかったです。京劇はとてもすばらしくて、感動しました。実験中学は規模が大きく、紀伊中学校とは全然違い学校全体の大きさに驚きました。

初めて食べた中華料理は、おいしかったです。少し油濃かったりもしましたが、おいしく食べれてよかったです。

今回、5日間中国に行かせてもたって、移動は大変でしたが、貴重な体験ができ、楽しめたので良い5日間となりました。また、何かの機会があれば、中国に行きたいなと思いました。

泰山に行って

「きれー☆・・・でも寒っ！！」

私たち紀伊中学校の2年生は大村先生、校長先生と一緒に、済南市と和歌山市との交流で、中国の済南市というところに行きました。

泰山へ行ったのは中国へ着いた次の日で、聞いていた通り済南市は所々雪が積もっていて、寒かったです。まず、バスに乗ってガタガタでカーブだらけの山の上へと続く道を登りました。乗ったバスが少し古くてガタガタ道で壊れないかと思いました。バスで登ったところまで歩いて登ると、まる1日かかるそうです。私はそんな距離をこんな寒い中、登るなんて、到底無理だろうなと思いました。バスを降りて、途中までみんなで歩きました。バスを降りたらすごい雪とかいっぱい積もっていたし、水たまりとかも凍っていて、雪のかたまりを足で踏んでこわすと、さっきまでかたかった雪が、すごくサラサラになってきれいでした。水たまりは凍っていたので足が滑りそうになりました。歩いていたらいろんなところで同じようなものがたくさん売られていました。その中に、長い棒じゃないけれど棒みたいなものが売っていたので、少し、「何かなあ？」って気になりました。歩いて行くとロープウェイが見えてきました。このロープウェイは、頂上までつながっていて、5人か6人の人に分かれて乗りました。ロープウェイからの景色はすごくきれいでした。でも、かなり高くて、「ここから落ちたらヤバイ。」と思いました。帰っていくロープウェイに乗っている人に向かってみんなで手を振ってみたりもしました。振ってくれる人と気付かない人がいました。

私たちはロープウェイを使いましたが、本当は長い階段があって、それを登ると3時間もかかるそうです。それを知って、あんな急な長い階段、登れる人がすごいなと思いました。

ロープウェイを降りて、そこから階段を登ったりしました。途中にはお寺みたいなところもありました。あるところでは南京錠が数え切れないほどつけられていました。先生がそれを通訳さんに聞いていました。通訳さんは、「これは夫婦円満の意味で、この南京錠を夫婦二人でつける。」みたいなことを言っていました。私はそれを聞いて、こんなにもたくさんの人たちが、ここに来て南京錠をつけているんだなと思いました。ほかにも、大きな崖の壁に彫刻がされていました。そこには、996文字もの彫刻がされていて、中には金で埋められているものもありました。

頂上について、寒かったけれど、すごくきれいな景色を見れてとても良かったです。こんな所へ一生の中で来れるかわからないのに、今回来れてとても良かったですし、いい思い出になりました。楽しかったです。

中国済南市に行って

私は、中国済南市へ行ってとてもいい経験をさせてもらえたと思いました。済南市と和歌山市とでは街並みの様子など色々なことが違いました。済南市には、とても銀行が多くて、マンションなどの建物が多かったです。私は、一軒家が多いと思っていました。しかし、実際は一軒家はあまりなくマンションの方が多かったのでびっくりしました。朝と夜はとても人が多くて道路が渋滞していました。道路が三車線もあり、車だけでなく電動自転車みたいな乗り物や日本では走っていない乗り物が走っていました。あまり日本みたいに歩道がなく信号も矢印や自転車のマーク、人が歩いているマーク、走っているマークがあつて色は一緒でしたがマークは日本とは全然違っていたので驚きました。

済南市の「東方大厦」というホテルに泊まりました。ホテルはすごく大きくて、きれいでした。朝食はホテルで食べて、バイキングでした。おいしかったです。日本でもあるケンタッキーやマクドナルド、ピザハットがあつて、ケンタッキーが漢字で書かれていました。日本であるキャラクターとは少し違っていました。その中でも一番違ったのはミッキーの耳の色です。私は、その耳の色を見慣れていなかったもので、少し不思議に感じました。また、済南市で買い物に行った時、いろいろな個人店がたくさんありました。お店には人形や靴下、文房具などたくさんのもものが売っていました。私はお土産にキーホルダーを買いました。その時に中国のお金と日本のお金とでは全然違っていたのでお金を支払うのがとても難しかったです。

最後に私は、中国済南市と和歌山市との国際交流に行かせてもらうことができ、中国済南市のさまざまな有名な所や文化など学ぶことができ、とても良い経験になりました。中国済南市の実験中学の生徒とも交流ができたので、すごく楽しかったです。また、このような機会があればもう一度行って色々学んでみたいと思いました。

ホームビジットについて

私は孫さんのお宅に行かせてもらいました。家に着くとマンションだって狭そうだなと思っていたけれど、中に入ると思ったより部屋は広かったです。

孫さんの家族はとても日本の事を良く知っていたので、すごく驚きました。

孫さんはサクソを持っていて聞いたので、吹いてもらいました。とても音が大きくて気持ちがこもっていたような感じでした。

それからは、孫さんからプレゼントをもらいました。書道をもらいました。孫さんが書いた書道はとても上手でした。孫さんは毎週土曜日は書道の練習をして、日曜日はサクソのレッスンをしているそうです。私は毎週毎週そんな事をして疲れないのかと不思議です。それからは写真を撮ったりしました。

お昼は済南市の一番高級ホテルのレストランに行きました。そこには中華料理だけじゃなく日本の料理、お寿司や海鮮料理もあったので安心しました。

午後からは、趵突泉に行きました。いろんな泉があって見るのがとても楽しかった。日本にはこういうところがないのでうらやましかったです。

初めはちゃんと話せるかなとか仲良くなれるかなって心配していたけれど、家族の方たちは、笑顔で迎えてくれ、親切にしてください、喋りやすい方たちだったのですぐ仲良くなれたし、話も弾んだので来てよかったと思いました。

私は、ホームビジットというのは初めてで、どんな家なのか見れたし、日本との違いも見つけたし、いろんな楽しい場所もあって行って良かったと思います。また、機会があればもっといろんな人と仲良くなりたいです。

今回、こういう機会をつくっていただき、心からとても嬉しく思います。